

国際トレンド



国際会計士連盟 (IFAC)
企業内職業会計士委員会
オブザーバー

わ き い ち ろ う
脇 一 郎

IFAC-企業内職業会計士 (PAIB) 委員会 シンガポール会議報告

1 PAIB委員会について

IFAC-企業内職業会計士 (PAIB) 委員会は、IFAC内に設けられている組織であり、主な活動としては、全世界で100万人いるといわれているPAIBに対する付加価値の向上と、そのためのIFACへの戦略的助言を提供することである。特に、下記のテーマに関して重要な分野と位置付けている。

- ファイナンス機能の革新 (Finance function transformation)
- ガバナンスと倫理、企業責任 (Governance and ethics, and corporate responsibility)
- リスク管理と内部統制 (Risk management and internal control)
- 財務・業績管理 (Financial and performance management)
- ビジネスレポート (Business reporting)

2 会合内容

(1) 日時と場所

2018年9月26日(水) 9:00~17:00

(Standard Chartered Bank、シンガポール)

9月27日(木) 9:00~17:00 (Pan Pacific Singapore Hotel、シンガポール)

(2) 参加者

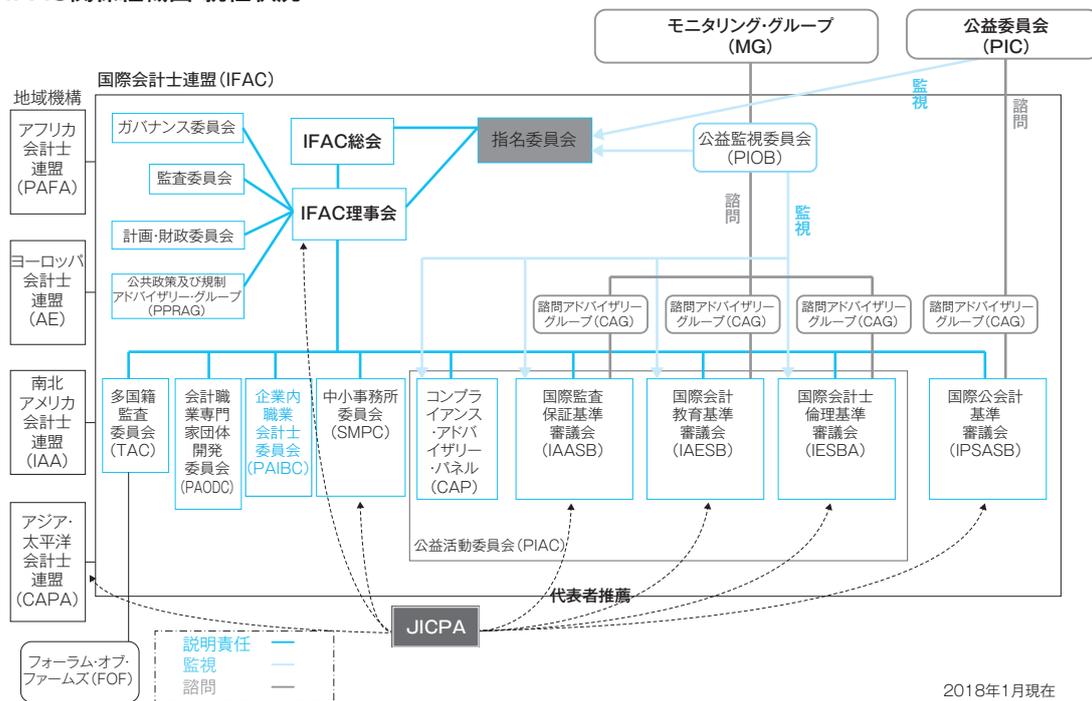
IFAC-企業内職業会計士 (PAIB) 委員会委員 (Committee member)、オブザーバー、テクニカルアドバイザーの約30名 (参加者名簿は配布されていない。)

(3) 主なテーマ

- CFO、ファイナンス機能に対する将来展望 (CFO Perspective on the Finance Function Journey)
- ファイナンスプロフェッショナルスキル向上とファイナンス機能拡張に関するビジョンとロードマップ (Vision and Roadmap for Finance Professionals and Finance Functions)
- データアナリティクスとファイナンス機能 (Data Analytics and the Finance Function)
- データモデリング (Data Modeling)
- リスクマネジメント (Risk Management)

IFAC-企業内職業会計士(PAIB)委員会の位置付け

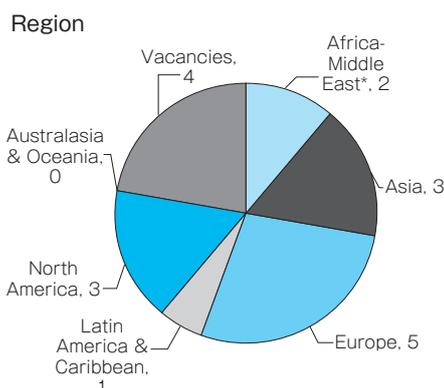
IFAC関係組織図・就任状況



IFAC-企業内職業会計士(PAIB)委員会 委員 (2018年)

PAIB Rotation Schedule 2018							Term Ending (X) Eligible for re- appointment (X1)		
Chair	Gender	Region	Country	Nominating Organization	Professional Classification	Service	2018	2019	2020
Tilley (Chair, 2014-2016; 2017-2019)	M	EU	UK	CIMA	Consultant	2014		X1	
MB Members	Gender	Region	Country	Nominating Organization	Professional Classification	Service	2018	2019	2020
Bedard	M	NA	USA	AICPA	PAIB-LE	2018			X1
Chaplin	M	EU	UK	CIMA	PAIB-LE	2015			X
Evans	F	NA	Canada	CPA CA	FSR	2013	X		
González Lima	M	LA	Mexico	IMCP	PAIB-LE	2014		X	
Hassan	F	AS	Malaysia	MIA	Consultant	2016	X1		
Kunaka	M	A-ME	Zimbabwe	ICAZ	Member Staff	2014		X	
Monehin	M	A-ME	Nigeria (UAE)	ICAN	PAIB-LE	2016	X1		
Muscat	M	EU	Malta	MIA	PAIB-LE	2018			X1
Rao	M	AS	India	ICAI-Cost Accountants	PAIB-LE	2017		X1	
Rughani* (Deputy Chair, 2017-2018)	M	EU (A-ME)	UK (Kenya)	ACCA	PAIB-LE	2015		X1	
Senior	F	EU	UK	CCAB (CIPFA)	Government	2017		X1	
Shaikh	M	AS	Pakistan	ICAP	PAIB-LE	2017		X1	
Tugman	M	NA	Canada	CPA CA	PAIB-LE	2015			X
Urquhart	M	AU	Australia	CAA NZ/CPA AU	PAIB-LE	2016	X1		
Van de Werken	F	EU	Netherlands	Royal NBA	PAIB-LE	2017		X1	
White	M	NA	USA	IMA	Consultant	2015			X
Yung	F	AS	Hong Kong	HKICPA	PAIB-LE	2015			X
Total							4	8	6

出典: Call for Nominations for the IFAC Board and Committees in 2019より抜粋



出典: Call for Nominations for the IFAC Board and Committees in 2019より抜粋

- 企業外部との効果的なコミュニケーションと戦略説明 (Effective Communication and Storytelling)
- IFAC戦略と優先度、最大限の貢献をするためには (IFAC strategy and priorities, and maximizing impact)
- PAIBとしてのIFAC戦略への貢献～イノベーションラボへの展開～ (Develop PAIB Contribution to IFAC Strategy through Deploying Approaches to Innovation Lab Ways of Working)
- 効果的なガバナンスと監査品質 (Effective Governance and Audit Quality)
- 職業倫理 (Professional Ethics)
- 今後のPAIBとしての注力分野 (Review PAIB Focus Areas)

3 内容報告

(1) 会議スタイル

• ワークショップ形式

会議はすべてプレゼンテーションとワークショップ形式で行われ、実際のディスカッションは、委員、オブザーバー、テクニカルアドバイザーの混合で行われる。基本的に公式な基準などを決議することはないため、意見発信や、IFAC本部への提

言、支援が中心である。会合は委員が事前にドラフトしたテーマ/プレゼンテーションに沿ってディスカッションをしたうえで、委員が集約していく形式であり、決議することはない。

なお、会合は順番に意見を述べるというわけではなく、挙手してコメントをすることになるため、会議への積極的な参加と高度な英語コミュニケーション能力が必要となる。

• ディスカッションの方向性と内容

基本的にはPAIBの付加価値向上とIFACへの貢献を目的としている。そのために、日本公認会計士協会 (JICPA) や日本の状況を説明することは、価値があったように思われる。日本以外ではPAIBが主流である国も多く、状況の違いから相互に参考になる点については有益である。ただ、グローバルの視点で、かつ、企業の立場でディスカッションを求められることは当然であるため、テクニカルな議論よりも、「Professional Accountant」として、どのようにパフォーマンスをあげ、付加価値を向上させるかという話を中心であった。

また、ディスカッションの内容も「テクノロジー」、「リスクマネジメント、ガバナンス」、「企業外部との適切なコミュニケーション」、「経営管理をするための適切な経営会計データモデル研究」、「倫理」など、多様である。

• 委員の役割

今回はオブザーバーとして参加したが、委員になった場合には、各自テーマが決められ、そのテーマについてプレゼンテーションとモデレータを担当することになる。

(2) 今後のPAIBとしての注力分野

• テクノロジー

すでに周知のとおり、Finance & Accounting分野については、最新IT技術 (AIやRPA、Fintech、ブロックチェーン、

データアナリティクス、データモデリングなど) が浸透してきており、PAIBとしてはこのようなテクノロジーに強くなければならない。今後は、テクノロジーに正面から向き合い、うまく利用するスキルと、ヒトでなければできないこと (例えば、マネジメント) によりシフトしていくことを考えなければならない。そのために、当委員会内で、別途、研究部会 (メンバーは別途選任) を立ち上げることとなった。

• リスクマネジメント

Professional Accountantとしてリスクマネジメント業務を適切に遂行していくには、どのようなアプローチをすべきかという議論があった。将来的には、Risk Management分野 (ERM) をCFOが主要業務として遂行していくべきという方向性をとりたい。

• IESBAからの報告 (Professional Ethics)

倫理基準の体系を再編 (Revised and Restructured) すること、NOCLARの実施状況、職業的懐疑心を新たな名前 (Role and Mindset Expected of PAs) で基準化すること、などが報告される。

• PAIB委員会としての今後の方向性

「Build Trust. Inspire Confidence.」をテーマとして、下記の戦略性を2019年から2020年に掲げる。

➤ Vision for the Global Accountancy Profession (グローバル会計プロフェッションとしてのビジョン)

Essential to strong sustainable organizations, financial markets and economies (強力で持続可能な組織であり、かつ金融市場や経済にとって不可欠な位置付けへ)

➤ Purpose (目的)

IFAC, with its member organizations, serves the public in-

terest by enhancing the relevance, reputation and value of the accountancy profession (会計プロフェッションが関係する事項や評判、価値を高めることにより、IFACの一員として公共の利益 (Public Interest) に貢献する。)

➤ Strategic Objectives (戦略的取組み事項)

✓ Contributing to and pro-

moting the development, adoption and implementation of high-quality international standards (高品質の国際基準の開発、適用、導入に貢献、促進する。)

✓ Preparing a future-ready profession (将来にわたり活躍できるプロフェッションを育成する。)

✓ Speaking out as the voice

for the global profession (グローバルプロフェッションの声として積極的に発信する。)

4 次回の開催

日時: 2019年 3月26日、27日

場所: IFAC本部 (ニューヨーク)